



OTARU UNIVERSITY
OF COMMERCE

地域医療

マネジメントセミナー



大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻
グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門

学長挨拶 ～地域医療マネジメントセミナーへのご案内～



小樽商科大学長

和田 健夫

小樽商科大学は、平成 27 年度に、経済産業省による「産学連携サービス経営人材育成事業」に採択され、医療・福祉業界及びその周辺業界と連携して、3 年間、「地域包括ケアシステムの中核を担う医療経営人材育成プログラム」を実施し、医療経営に携わる多くの人々から高い評価を受けてきました。支援事業は昨年度終了し、今年度からは、過去 3 年の成果を、①ビジネススクール（大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻）の正課科目（特殊講義Ⅱ：地域医療マネジメント）、②現場と連動した研修プログラムに取り込み、自走化させることといたしました。そして、①は「地域医療マネジメントセミナー」と銘打って、学生以外の方々にも公開することにいたしました。

小樽商科大学は、前身の小樽高等商業学校時代を含めると、今年で 107 年になります。戦前は北海道では唯一の文科系高等教育機関として、戦後は、国立大学では数少ない商学部の単科大学として、全国から学生を集め、社会の多様な分野で活躍する人材の育成に努めて参りました。特に近年は、微力ながら、北海道経済の発展に貢献するための教育研究を推進することを使命と考え大学運営を行ってきました。平成 25 年度には文部科学省の「地(知)の拠点整備事業(GOC)」の採択を受け、この使命をより自覚的に果たす機会を得ました。そのなかで重要な事業となっているのが、北海道で働く社会人のための再教育・学び直しであります。この度ご案内させて頂くセミナーもその一つであります。

少子高齢化、人口減少という社会構造の変化のなかで、地域医療を中心とした地域全体での健康増進、医療・福祉サービスの向上が求められております。そのためには、経営指標等に基づく経営改善や医療外の分野での新事業・新サービスの創出を担う経営管理能力を備えた人材が必要です。このセミナーがこれらの課題に少しでも貢献できれば幸いです。

講義イメージ図

実践的かつ専門的な
知識の習得

ディスカッション・
ネットワーキング

手厚いサポート

戦略立案

セミナー概要

受講対象者

以下のいずれかに該当する方

- ・医療機関で10年以上の実務経験を有する方
- ・ヘルスケア産業で10年以上の実務経験を有する方
- ・修士、またはそれに準じる学位を有する方
- ・上記に準ずると認められる方

※お申し込みいただきました書類を元に、選考の上、受講者を決定いたします。
選考結果については、9月21日(金)以降、メールにてご連絡いたします。

目的

医療・介護・予防・生活支援を一体展開する「地域包括ケアシステム」の推進が望まれる中、医療・福祉機関及びその周辺機関において、経営マネジメントを担う人材の育成、強化が進められています。本講義では、地域包括ケアシステムに向け、社会の流れを俯瞰し、地域医療やヘルスケア等のイノベーション創出を牽引できる人材の育成を目指します。

到達目標として、できるだけ地域医療を広くとらえて医療マネジメントだけでなく、歯科診療、介護サービス、ソーシャルビジネスを含む地域医療サービスの創出などヘルスケア全般におけるトピックスを毎回それぞれの分野を代表する専門家を招いて講義及びグループワークを実施し、総合的な知識の習得とこれから必要になる先見性を身に着けることとします。

なお、本セミナーは、小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻(OBS: OTARU BUSINESS SCHOOL)にて、開講する正規科目「特殊講義Ⅱ(地域医療マネジメント)」を地域医療機関等の幹部、マネジメント層向けセミナーとして開放するものです。

修了要件

- ・出席 3分の2以上(6モジュール以上)
- ・事前事後の課題提出
- ・最終レポートの提出

以上の要件を満たした方には、受講修了証を交付いたします。

申込締切日

9月21日(金)

受講料

40,000円

プログラムの特徴

65歳以上の人口は、3,000万人を超え(国民の約4人に1人)、2042年の約3,900万人でピークを迎え、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。このような状況の中、団塊の世代(約800万人)が75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。

このような状況に対し、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築が進められており、医療業界が大きなパラダイムシフトを迎える中で医療・介護福祉機関、そしてヘルスケア産業におけるイノベーションや異業種と連携した新サービスの創出を牽引できる経営人材の育成・輩出が喫緊の課題となっています。

本プログラムでは、こうした地域包括ケアシステムに向け社会の流れを俯瞰し、地域医療やヘルスケア等のイノベーションを牽引できる人材育成を目指すため、最前線に立つ実務家と複数の大学教員によるオムニバス形式で講座を実施し、現役のビジネススクール学生と医療・介護業界のみならずヘルスケア産業界からの受講者によるディスカッションを活性化し、実際の現場へ経営理論を踏まえた具体的な解決方法に対するアプローチや内外の組織を動かし、新しいビジネスを創出できるよう講師陣、受講者が一体となって講座を展開します。

※一部、厚生労働省「地域包括ケアシステム」から引用

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/

一般的に大学で開講される90分の授業では、グループワークやディスカッション、プレゼンテーションが中途半端になったり、1つのテーマが数週にわたって議論されることもあるため、それまでの講義内容の記憶が薄れ、学生がテーマに集中することが難しくなります。本セミナーは、モジュール型（集中連続）授業とし、1回の授業を2時限連続（90分×2＝180分）で行い、集中的に学習します。また、次の授業までの間隔を有効に使えるように、各回に、事前準備と復習を課すことで、学習効果を高める工夫をしています。

● 社会保障の世界史と我が国の展望

第1回 10月5日（金） 18:30～21:40



株式会社ほくやく・竹山ホールディングス 代表取締役社長 **まなべ まさのぶ 眞鍋 雅信 氏**

事前準備	講師からの事前課題に対して取り組む
第1時限	社会保障の世界史と我が国の展望の講義 社会保障の世界史と我が国における今後の在り方について理解を深める。超高齢社会を迎える我が国の医療・介護・保健・福祉から多世代共生と地方創生を展望する。
第2時限	社会保障の世界史と我が国の展望のグループワーク 地域包括ケアシステム時代の「住まいと心構え」についてグループ討議する
復習	グループ討議の内容を2,000字程度でまとめる

● 地域医療のマネジメント

第2回 10月19日（金） 18:30～21:40



北海道大学 大学院保健科学研究所 教授 **おがさわら かつひこ 小笠原 克彦 氏**

事前準備	講師からの事前課題に対して取り組む
第3時限	地域医療のマネジメントの講義 地域医療マネジメントに必要な知識とツールを学ぶ
第4時限	地域医療のマネジメントのグループワーク 地域医療をマネジメントする上での経営ポイントについてグループ討議する
復習	グループ討議の内容を2,000字程度でまとめる

● 地域医療サービスの創出

第3回 11月2日（金） 18:30～21:40



株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門執行役員 **きのした てるひこ 木下 輝彦 氏**

事前準備	講師からの事前課題に対して取り組む
第5時限	地域医療サービスの創出の講義 遠隔医療サービスや在宅医療事業の事例を基にヘルスケアサービスの創出における理解を深める
第6時限	地域医療サービスの創出についてのグループワーク 地域包括ケアシステムの中で必要なサービスの創造についてグループ討議する
復習	グループ討議の内容を2,000字程度でまとめる

● 介護サービスの重要性

第4回 11月16日(金) 18:30~21:40



株式会社さくらコミュニティサービス 代表取締役 ^{なかもと ひであき}
中元 秀昭 氏

事前準備	講師からの事前課題に対して取り組む
第7時限	介護サービスの重要性の講義 地域包括ケアシステムを支える介護サービスの進化について学習する
第8時限	介護サービスの重要性についてのグループワーク 介護サービスの今後の発展について課題とその方向性をグループ討議する
復習	グループ討議の内容を2,000字程度でまとめる

● ソーシャルビジネス~コープさっぽろの社会貢献の取り組み~

第5回 12月7日(金) 18:30~21:40



生活協同組合
コープさっぽろ
専務理事
なかじま のりひろ
中島 則裕 氏



NPO 法人ソーシャル
ビジネス推進センター
理事長
あいうち としかず
相内 俊一 氏

事前準備	講師からの事前課題に対して取り組む
第9時限	ソーシャルビジネスの講義 ソーシャルビジネスの重要性を学ぶ
第10時限	ソーシャルビジネスのグループワーク ソーシャルビジネスのビジネスモデルについてグループ討議する
復習	グループ討議の内容を2,000字程度でまとめる

● 地域に根差した医療提供~診療から予防までの歯科診療~

第6回 12月21日(金) 18:30~21:40



医療法人社団林歯科医院
理事
はやし はるみ
林 春美 氏



旭川医科大学
講師
たに ゆうじ
谷 祐児 氏

事前準備	講師からの事前課題に対して取り組む
第11時限	歯科診療をベースにした医療提供の講義 地域医療に貢献する歯科診療の役割から地域包括ケアシステムを議論する
第12時限	歯科診療をベースにした医療提供のグループワーク 歯科診療におけるサービスの課題とその発展方法についてグループ討議する
復習	グループ討議の内容を2,000字程度でまとめる

● 地域医療の目指すべき方向と地域の共生 第7回 1月11日(金) 18:30~21:40



深仁会グループ 最高責任者 たなか しげみち
手稲深仁会病院 理事長 田中 繁道 氏

事前準備	講師からの事前課題に対して取り組む
第13時限	地域医療の経営理念、経営戦略の講義 地域に根差す医療の考えや戦略の展開について学ぶ
第14時限	地域医療の経営理念、経営戦略のグループワーク 地域医療を総合的な観点から捉え、その戦略の方向性についてグループ討議する
復習	各自の専門的な立場で地域医療の課題と今後の戦略についてまとめる

● 地域医療の課題と今後の戦略的ビジョン 第8回 1月25日(金) 18:30~21:40



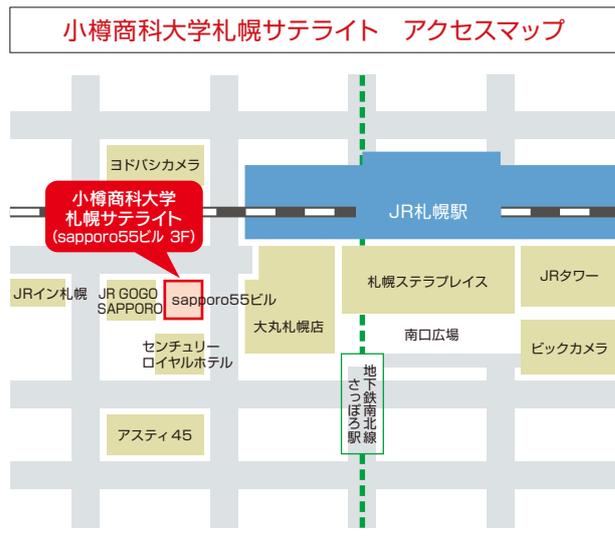
小樽商科大学 大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 り じえみん
グローバル戦略推進センター 産学官連携推進部門 部門長 李 済民 氏

事前準備	プレゼンテーションの準備を行う
第15時限	地域医療の課題と今後の戦略的ビジョンの講義 各自が今後の地域医療の在り方やビジョンについて戦略的見地から地域包括ケアシステムに向けた取り組みをプレゼンテーションする

受講場所



小樽商科大学 札幌サテライト
〒060-0005 札幌市中央区北5条西5丁目7番地
sapporo55ビル 3F
TEL:(011)218-6377 FAX:(011)218-6378



東京(羽田)	▶	新千歳空港	90分
JR新千歳空港駅	▶	JR札幌駅	40分 快速
JR札幌駅西口	▶	札幌サテライト	2分 徒歩

※駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

申込方法

FAX・メールでのお申込

FAX 0134-27-5293 ・ E-mail cbc-iryuu@office.otaru-uc.ac.jp

本学より、「申込受付」確認のご連絡をいたします

本学が、申し込みを受領したことをお知らせいたします。
※お申し込みをされてから、一週間経過しても連絡がない場合はお問合せください。

本学より、「受講決定通知」をお送りいたします

9月21日（金）以降、選考の上、受講決定通知をお送りいたします。
※選考にもれた方にも、メールでご連絡いたします。

受講料をお振込みください

受講決定通知に記載の口座に、受講料をお振込みください。

- 注 意 事 項：①本人以外の受講はお断りいたします。
②担当講師、講義内容、日程に変更が生じる場合があります。ご了承ください。
- 個人情報取扱い：①受講申し込みの際にお預かりした個人情報は、講座の実施や本学が開催するイベントの案内、および調査統計に利用いたします。法令に基づき開示することが必要となる場合を除き、第三者への提供はいたしません。
②本セミナーの広報等のため、写真撮影のご協力をお願いする場合があります

H29 年度 受講生の声

- 非常に有意義な講義でした。目的・理解定着へのプロセス・活用方法、どれも明確であると感じました。
- とても実践に役立つものでした。現場に生かしたいと思います。
- 非常に勉強になり、仕事へのモチベーションアップにつながりました。
- グループワークでは、自分には無い豊かな発想での具体策が飛び出し、楽しみながら、現場のあり様や管理者としてのあり方を振り返ることができ、学びが深まりました。その後の全体共有も貴重な時間だと感じました。
- 医療経営の特殊性、それゆえの可能性を感じました。
- それぞれの職種・立場から地域包括ケアシステムを構築していくために必要な取組みを学ぶことができました。
- 現場の生の声をきくことで、理解や問題意識が深まりました。
- 地域の住民にとって、どのようなことが望ましいかを考える機会となりました。
- 異業種との事業提携による新しいビジネスチャンスのヒントが得られました。



国立大学法人 小樽商科大学

<http://www.otaru-uc.ac.jp/>

〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号

お問い合わせ先

グローバル戦略推進センター 産学官連携推進部門

地域医療マネジメントセミナー事務局

TEL:0134-27-5499 FAX:0134-27-5293

E-mail cbc-iryu@office.otaru-uc.ac.jp